

地域の急性期医療を提供 慶應大湘南藤沢キャンパスとの

湘南藤沢記念病院



完成予想図(2017年10月ごろ完成予定)

神奈川県藤沢市が掲げる「健康の森」区域であり、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)の隣接地に建設予定の医療法人社団健育会湘南藤沢記念病院の開設についての記者発表が9日、藤沢市総合防災センターで開かれた。ここには病院開設者である医療法人社団健育会の竹川節男理事長、鈴木恒夫藤沢市長、國領二郎慶應義塾常任理事が出席し、記者団との質疑応答に応じた。

開設予定区域である「健康の森」は2010年に藤沢市が定めた基本構想で、藤沢市の都市拠点の1つである健康と文化の森地区の一翼を担うものだ。全体計画面積は約33ヘクタール。第1期整備区域の約9.3ヘクタールについては、周辺環境に配慮しつつ都市的土地利用を図る区域としてゾーニングされており、病院についてもその区域に配置される。15年秋には慶大による大規模滞在型教育研究施設「未来創造塾」の開設も予定されている。

建設される湘南藤沢記念病院は、地上5階、延べ床面積約1万5412㎡の規模で、病床数230床。内科、外科、整形外科、眼科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科な

どの診療科が設置され、17年10月ごろの開設予定だ。

また、湘南藤沢記念病院では、地域に向けて急性期医療を提供するとともに、健育会とSFCの総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部および大学院政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科は、14年10月に同院および周辺地域において、豊かな長寿社会づくりに資する研究・臨床応用・教育を遂行することを目的とした「研究・教育に関する協定」を締結した。

「健康・高齢社会、抗加齢研究」「漢方・東西統合医療ビッグデータ構築」「ヘルスインフォマティクス」に関する連携領域において、健育会は臨床応用・医療サービス提供・教育支援を、SFCは基礎研究・応用研究をそれぞれが役割分担して推進する。この協定内容の実現に向けたスペースが健育会との連携により新病院内に用意される予定だ。また新病院の北側に位置する看護医療学部においても、両者の持つ知見を生かして看護および介護・医療に関する教育研究連携や訪問看護などの地域医療サービスの向上が期待されている。

共同研究も



完成に向けて工事が開始されている

会見に臨む右から医療法人社団健育会・竹川節男理事長、藤沢市・鈴木恒夫市長、慶應義塾・國領二郎常任理事

湘南藤沢記念病院の周辺図

未来創造塾 (建設予定地)

看護医療学部



慶應義塾大学 SFC キャンパス

湘南藤沢記念病院 (建設予定地)

湘南藤沢記念病院概要

病院名	湘南藤沢記念病院
所在地	神奈川県藤沢市遠藤 4430 他
敷地・建物概要	敷地面積：30,579.20㎡ 建築面積：3,859.17㎡ 延床面積：15,412.60㎡
運営	医療法人社団 健育会
理事長	竹川 節男
開設準備室長	松本 純夫 (国立病院機構 東京医療センター名誉院長)
病床数	230床 (一般30床、療養200床)
診療科 (予定)	内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、神経内科、内分泌代謝科、外科、整形外科、眼科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科

機能別コンセプト

機能	内容
一般病床	様々な患者が受け入れられる外来機能、二次救急に対応する地域医療、低侵襲外科手術
回復期リハビリテーション	発症直後からの集中的なリハビリテーション
療養病床	慢性期の長期療養医療
在宅支援機能	訪問看護や訪問リハビリテーションで退院後の在宅支援、百寿藤沢コミュニティ実現のための ICT 活用
地域包括支援	地域の介護施設やクリニックからの急変時の患者受入、急性期の受け皿、在宅復帰支援
SFC ヘルスサイエンスラボとの連携	未病社会・まちづくり研究・百寿社会、ライフクラウド (PHR・ビッグデータ) 研究、ヘルスサイエンス研究
抗加齢医学臨床研究	健康寿命百歳を実現するための未病・抗加齢センター